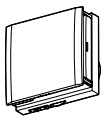
MITSUBISHI

0901874HL2602

三菱パイプ用ファン（強制給気ユニット・居室用）



形 名

V-08PQF3（-BE,-CK）
V-08PQFF3（-BE,-CK）

取扱説明書

お客さま用

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
●添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない （爆発や引火の原因になります）
水濡れ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない （ショートや感電の原因になります）
分解禁止	●改造や分解はしない （火災・感電・けがの原因になります） 修理はお買い上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」にご相談ください。
指示に従う	●交流 100V を使用する （直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります）
	●お手入れの際（本体の水滴を拭き取るとき等）は必ず分電盤のブレーカーを切る （感電やけがの原因になります）
	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 〈異常・故障例〉 ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食・破損等がある。 等 ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない （本体・部品の落下によるけがの原因になります）
	●直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない （火災の原因になります）
接触禁止	●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない （けがの原因になります）
指示に従う	●長期間ご使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切る （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）
	●お手入れの際は手袋を着用する （けがの原因になります）
	●部品の取付けは確実に行う （落下によるけがの原因になります）

ご使用にあたってのお願い

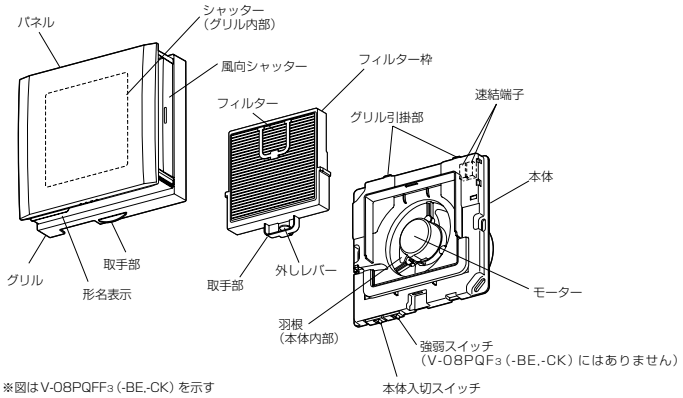
●高温（40℃以上）になる場所で使用しないでください。
（モーターの寿命が短くなる原因になります）
●下記環境下では、結露水が滴下することがありますので、乾いた布で拭き取ってください。
（運転中に滴下する場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止した状態でふき取ってください）
室外温度が一 10℃を下回り、かつ室内温度が 15～20℃、室外湿度 45%RH 以上
●外気温が低いときや霧の多いとき、台風など外風・雨の強いときには運転を停止し、シャッターを閉じてください。
（運転を継続した場合は、フィルター枠に水がたまり、あふれるおそれがありますので、清掃してください）
●吹出口近くの天井・壁にほこりなどが付着する場合があります。約 2 か月に 1 度を目安として清掃してください。
●吹出口をふさぐような障害物を製品のまわりに置かないでください。
●グリル（パネル）を無理に押したり、引っ張らないでください。また、グリルに物をかけたりしないでください。
（パネル・シャッター動作不良や破損の原因になります）
●換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）

本製品のはたらき

新鮮な外気をファンで取り入れ、室内に空気の流れをつくります。

●高気密化した最近の住宅では、従来の住宅のように自然な換気量が十分ではありません。
本製品は、排気用のファンと一緒に使用することで、常に住宅内に必要な空気の流れをつくり、シックハウス症候群の元となる室内の汚染物質の滞留を抑えます。外気はフィルターを通して花粉やほこり等を取り除いて取り入れます。
（特に戸建住宅では、風の流れをつくる給気場所の明確化と、必要給気風量確保のため本製品の設置が効果的です）

各部のなまえ



※図は V-08PQFF3（-BE,-CK）を示す

■フィルターについて

フィルター名	高性能除じんフィルター（交換用：P-08QLK）
特 長	外気に含まれる花粉やチリ、ほこりなど、10 μm（0.01 ㎜）以上の粒子を約 97%（質量法）取り除いて、きれいな空気を室内へ取り入れます。 （フィルターには表面に付着したカビ菌の繁殖を抑えるため、抗菌剤を添着しています。）

※フィルターはお近くの電気店にお問合せいただくか、三菱電機ストアでお買い求めください。

使用方法

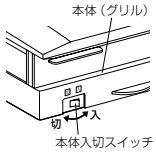
24 時間換気用としてご使用されるときは、特別な場合（運転異常・点検・お手入れ）を除き常時本体入切スイッチを「入」でご使用ください。また、強弱スイッチ付機種の場合は、適正な換気量を確保するため、現在の風量設定（強運転もしくは弱運転）のままでお使いください。

運転のしかた

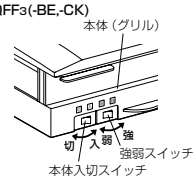
■本体入切スイッチを「入」にします。停止するときは「切」にします。
強弱スイッチで風量「強」「弱」を切替えます。

お願い
●運転するときは必ずシャッターを開いてください。

●V-08PQF3(-BE,-CK)



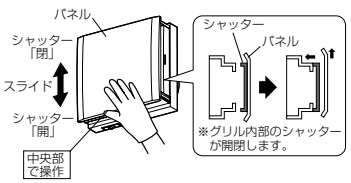
●V-08PQFF3(-BE,-CK)



シャッター開閉のしかた

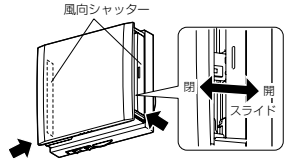
■パネルを上下にスライドさせることでシャッター（グリル内部）が開閉します。
（パネル中央部付近で操作します）

お願い
●外気が低温のとき、結氷などにより操作が固くなることがあります。その場合は一度グリルを外して操作してください。
●シャッターを開いたときはシャッターがパネルに密着していることを確認してください。
●シャッターを閉じるときは運転を停止してから閉じてください。
●シャッターを閉じたときは手をグリル周囲にかざすなどして、風がもれていないか確認してください。



吹出し方向の変更のしかた

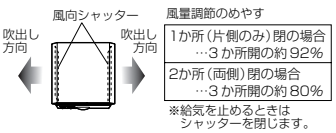
■左右の風向シャッターを開閉することで吹出方向の変更ができます。（左右吹出しのみ）



風量調節のしかた

■左右の風向シャッターを 1 か所または 2 か所閉じて給気量を調節できます。

メモ ●風向シャッター閉の場合、外気が低温のときの運転中に風向シャッター表面に結露することがあります。



➡ 裏面もご覧ください。

お手入れのしかた

フィルターやグリルにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約２か月に１度を目安として清掃してください。

●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

⚠警告

- **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
  感電やけがの原因
- **お手入れの際は周囲の安全を確認してから行う**
  けがの原因

⚠注意

- **お手入れの際は手袋を着用する**
  けがの原因

グリル表面に結露水が付着しているときは、乾いた布でふき取ってから清掃してください。

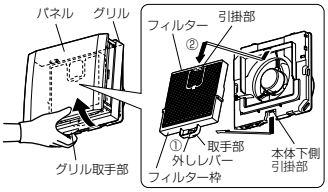
1.清掃部品（フィルター枠）を取ります

（1）グリルをはずす

●グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げて、本体上側のグリル引掛部からはずしてください。

お願い

●グリルをはずす際はパネルを持って引っ張らないでください。破損のおそれがあります。



（2）フィルター枠を取りはずす

①フィルター枠の取手部にある外しレバーを押し下げ、フィルター枠を本体下側の引掛部からはずします。
②フィルター枠を斜め下方向にスライドさせて本体からはずします。

メモ ●フィルター枠を本体からはずす際に、フィルター裏側のほこりや虫が落下したり、結露水が滴下することがあります。また、フィルターが枠からはずれることがあります。

2.清掃する

（1）各部品を清掃する

●グリルやフィルター枠、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

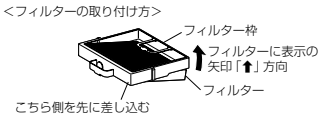
お願い

- 本体やグリル裏側の断熱材をはがさないでください。
  （結露や外気侵入の原因になります）
- ドライヤーなどで強制乾燥をしないでください。
  （変形・変質の原因になります）
- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- グリル（シャッター、パネル）を分解しないでください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。
  （異常音発生の原因になります）

（2）フィルターを清掃または交換する

清掃：掃除機でほこりを吸い取ってください。（水洗厳禁）
交換：１年を目安に交換用フィルターと交換してください。

交換用高性能除じんフィルター　形名　P-08QLK



3.お手入れ後の取付け

取付けは取りはずしと逆の順序で行う

（1）フィルター枠にフィルターを取付ける（フィルター交換の場合）

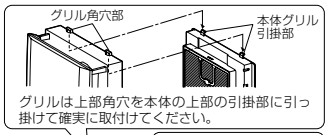
●フィルターは側面の「⬆」表示に注意して濃い緑色の面が本体側になるようフィルター枠に取付けてください。

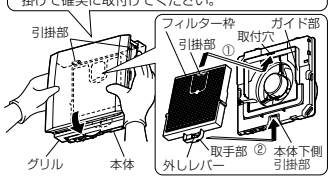
（2）フィルター枠を本体に取付ける

①フィルター枠上側の引掛部を本体取付穴に合わせます。
②フィルター枠の取手部を本体下側引掛部に固定してください。
（フィルター枠を本体ガイド部に沿って斜めに滑らせて挿入します）

お願い

●フィルター枠は確実に取付けてください。
（虫侵入・外気もれの原因になります）





（3）グリルの方向を間違えないよう本体に取付ける。

①グリル角穴部を本体上部の引掛部に引っ掛ける。
②グリル下面が壁面に当たるまでおろす。

取付け後、次の確認をする

（1）フィルター、フィルター枠は確実に取付けられていますか。
（2）グリルが確実に取付けられていますか。（上部のグリル角穴が、本体引掛部に引っ掛かっていますか）
（3）異常な音が出ていませんか。
（必ず運転して確認してください）
（4）シャッターは確実に動作しますか。

故障かな？と思ったら

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の症状が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	ブレーカーを「入」にします
	本体入切スイッチが「切」になっていませんか	本体入切スイッチを「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル・フィルターが確実に取付けられていますか	グリル・フィルターを取付け直します
	グリル・フィルターにほこり、異物が付着していませんか	グリル・フィルターを清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響で発生する可能性があります	外風の影響のない状態で確認します
グリルが取付けられない、浮く	フィルター枠が正しく本体に取付けられていますか	フィルター枠を本体に正しく取付ける
	グリル上部角穴が本体上部引掛部に引っ掛けられていますか	グリルを本体に正しく取付ける
風の吹出しが弱い	シャッターが閉じていませんか	シャッターを開きます
	フィルターにほこり、異物が付着していませんか	フィルターの清掃、交換をします
	濃霧時などフィルターが水を含んで目詰まりしていませんか	フィルターを自然乾燥させます
シャッターが閉じない／開かない	正しく操作されていますか／部品の破損はありませんか	**使用方法** を確認します
パネルがはずれてしまった	パネルを持って引っ張っていませんか	パネル裏の組立要領で組立てください。

アフターサービス

三菱パイプ用ファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

電圧 100V

形　名	ノッチ	消費電力（W）		風　量（m³/h）		騒　音（dB）		質　量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PQF₃（-BE₂-CK）	―	1.7	2.0	22	24	21.5	23	0.75
V-08PQFF₃（-BE₂-CK）	強	3.1	3.8	30	34	28	32	
	弱	1.6	1.9	22.5	22.5	22.5	22.5	

※特性は JIS C 9603 に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

〔設計上の標準使用期間とは〕

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、日本電機工業会自主基準 HD-116-4 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本電機工業会自主基準　HD-116-4による

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	JIS C 9603から引用
	温　度	20℃	
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1 年間の使用時間	換気時間 24 時間換気 8760 時間 / 年	

愛情点検

☆ 長年ご使用の換気扇の点検を ！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
  （モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損等がある。

使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号　電話 0573－66－2111

この説明書は、再生紙を使用しています。